



初冠雪

一人の動き

12月末現在

()は11月末との比較

出生	2人	死亡	6人
転入	6人	転出	1人
世帯数	1,286世帯(+1)		
男	2,870人(+1)		
女	2,949人(+2)		
合計	5,819人(+1)		

読者リレー おらが地域



「昭竹会」と言うと村民の皆様にはおわかりの方が少ないと思いますが、両高部落にとっては全ての面で中心となる組織であります。会の命名の由来は、昭和生まれの竹馬の友と言ったのが由来であります。会員は、二十歳以上四十歳までの人達六十七名で構成されています。事業内容を二、三紹介すると、対外的事業として南魚沼郡大和町「語ろう会」との交流があります。既に回を重ねること四回。文字通り親睦の度が高まり、充実しつつあります。今年も三月に一泊二日で行く予定です。現地では、暖いもてなしのもとにスキーの指導を受けたり農家同志の当面の課題について語り合ったり、ある時には若者同志の恋の花も咲くこともあり、充実した日を過ごして帰村いたします。また、夏には子供を含めた多勢でこちらに来ていただき落水海岸で海水浴やキャンプファイヤーを

行ない尽きぬ親交が繰りひろげられるのです。社会奉仕の面では、多忙な時間を費して近年注目されている観光の面で、忠臣・村岡三郎の居城にからむ遊歩道の整備等その熱意は驚くものがあります。又、部落道で事故等は起こさないようにと交通標語等を要路に配置し事故防止にとめたり、掲示板を部落の中央に設置して日常生活に欠けている反省点やミニ知識等を広告し、激変して行く社会にするとい批判をし、反省をして自らを正しい明るい家庭、明るい部落作りの為に情熱を燃やしています。今夜(二月十五日)も両高部落では各班毎に「塞の神」が祭られ部落内は勿論、帰郷された村外からの多数の子供連れ夫婦が参加されて真っ赤に色どられた夜空に明日の健康と幸せを祈ると共に、二年続きの不作に自らの手によってブレイキをかけ豊作を祈り、より良い部落作りに一層の情熱を燃やしていました。

降る雪は、黒き田畑を埋めつくし、夜空を焦がす「どんど」は燃ゆる。

交通災害共済組合に加入を!!

「一日一円の会費で会員相互の助け合い」ということで、新潟県交通災害共済組合が昭和四十三年に発足してから今年で十三年目になります。この間加入会員の数は年々増え続け昨年度は、県民二百四十五万人のうち百六十一万人余の方々が加入されました。また、交通事故に遭われた方も多く、組合が発足してから今までに二十九億円を超える見舞金が支払われております。いつ不幸な交通事故に遭うかわかりません。御家族そろって交通災害共済に加入されることをお奨めいたします。

おかあさん
わすれちゃ
だめだよ!!
△△△△△△△△△



保健衛生行事(2月)

日	曜	種目	対象	時間	場所
10	水	妊婦検診	妊婦	午後1時30分~2時	福祉センター
16	火	乳児検診	乳児	午後1時30分~2時30分	〃
18	木	1歳6ヵ月児検	個人通知のあった幼児	午後1時30分~3時	〃

等級	災害の程度	金額
1等級	死亡した場合	1,000,000円
2等級	自賠責施行令別表の等級区分の1級各号に掲げる傷害の場合	700,000円
3等級	治療を要した期間が6月をこえ、かつ、入院30日以上を含む実治療日数90日以上のもの	150,000円
4等級	治療を要した期間が5月をこえ、かつ、入院21日以上を含む実治療日数75日以上のもの	120,000円
5等級	治療を要した期間が4月をこえ、かつ、入院14日以上を含む実治療日数60日以上のもの	100,000円
6等級	治療を要した期間が3月をこえ、かつ、入院7日以上を含む実治療日数45日以上のもの	80,000円
7等級	治療を要した期間が2月をこえ、かつ、入院通院の実治療日数30日以上のもの	60,000円
8等級	治療を要した期間が1月をこえ、かつ、入院通院の実治療日数15日以上のもの	40,000円
9等級	入院通院の実治療日数7日以上のもの	20,000円

(住雲園)



食糧事情のひっ迫した戦事中に食糧の分配を公平にするために、昭和十七年に食糧管理法ができましたが、時代は大きく変わり、実情にあわなない面がでてきました。

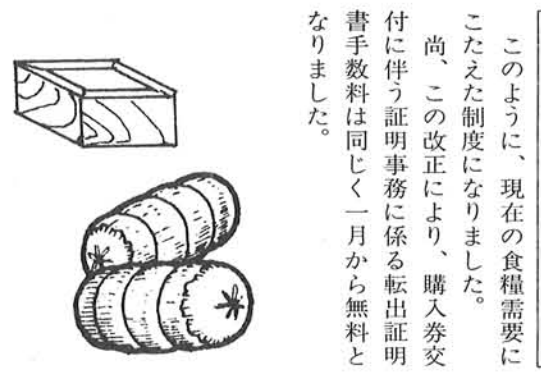


米穀通帳制が廃止されたので、米穀通帳なしでお米が買えるようになりました。

この多様化する消費者の需要に即応するため、全般的な制度の見直しを行った「改正食糧管理制度」が一月から実施されています。ここに変わった点を簡単に紹介します。

食糧管理制度が改正されました!!

昭和57年1月から実施



これまで規制されていた「緑故米、贈答米」が認められました。

米穀小売店が簡単な販売所において、お米を販売できるいわゆる「ランチ制度」ができました。

このように、現在の食糧需要にこたえた制度になりました。尚、この改正により、購入券交付に伴う証明事務に係る転出証明書手数料は同じく一月から無料となりました。

旧道を下った所に塩入開道の記念碑がある。昭和二十七年に荒巻、根小屋、与板町有志によって建てられたもので、額縁は、岡田正平知事の筆で「塩入開道」とあり、碑文は与板町長明寺前波師の筆である。碑文の中にある如く文明の機は道路である。と郷土の先覚者達が相謀り八方手を尽し運動を展開した。特に荒巻の山田彦栄が中心になり、国県に陳情し、働きかけたが、機熱せず、止むなく与板町有志と相謀り、「塩入線編入開道開闢期成同盟」を作り運動を続けた。然し意の如くならず、明治四十二年二月同盟会が自力にて工を起し、十月十五日竣工式が上げた。(郡長・北見東四郎、与板町長・池上信五郎の祝辞が残っている。)



▲記念碑

すための見積書には、四千八百八十四円三十二銭とある。其道が俗に七曲新道である。此を期に同十二年二月郡道編入願書提出、遂に昭和三年寺泊与板線として県道に編入、同四年一部起工。其年の工事費二十一万四千四百円と記されている。峠の改修は隧道か開道かと県に論議があったといわれており、遂に隧道と決定し、昭和七年着手、昭和九年開通した。当時は、手堀であったので大変な工事であったと思うが此の地方に画期的な隧道工事がいち早く出来たのは、地元先覚者が寝食を忘れての長年の努力の賜ものだと深く敬意を捧げたい。時代は休みなく過ぎてゆき、かげで苦勞された人々の熱しが忘れ去ってゆくのではないかと、淋しい気がする。時代の要請によって隧道が狭隘のため昭和五十四年より、本年十二月まで四億一千五百万円の巨費をかけて改修された。私は、記念碑の裏面に誌されている山田彦栄老を始め、多くの人達の努力に心から感謝して筆を擱く。(久住三郎氏より)

和島村を訪ねて 塩入峠の今昔(二)

和島村建設工事 契約状況(10月~12月)

事業の種類(工事名)	施行場所	事業費(千円)	請負業者名
村道工事道路舗装	釜ノ口線	3,650	丸運建設(株)
"	坂谷乗光寺前線	4,700	(株)中元組
"	根小屋2号線	4,550	(株)植木組
"	赤田線	4,350	(株)水倉組
"	吉田1号支線	4,100	(株)水倉組
"	地藏様前線	3,450	日本道路(株)
"	小沢田線	2,800	(株)水倉組
"	本合分砂田線	5,700	(株)中元組
"	小布施吉田線	1,275	(株)水倉組
橋梁塗替工事	村岡橋	980	諸橋塗装
橋梁架換工事	割山橋	23,700	(株)水倉組
地盤改良工事	高畑・高村田線	3,000	(株)高橋技術センター
村道工事道路改良	北辰線	5,400	(株)中元組

上小島谷	久住昇一	坂谷	関本富一郎
中小島谷	久住一市	上桐	小黒久雄
下小島谷	布施正義	三瀬ヶ谷	加勢彦四郎
駅前	小林勉	北野	池田一雄
小島谷総区長	小谷松孫越郎	根小屋	笹子新一
下富岡	新保勇雄	荒巻	山田忠
若野浦	関川秀一	新田	早川信次
阿弥陀瀬	八子栄一	中央	大矢金市郎
高畑	椎谷彌	下町上	加瀬洪志郎
日野浦	佐藤広司	下町下	家後賢治
中沢	大矢満寿雄	川端	木村正嘉
梅田	久須美寿彦	道城下	早川駿一郎
東保内	川瀬俊一	法善町	本間一吉
村田	田中泰雄	寺町	大矢甚作
城之丘	関本猛	小谷	河上孝平
高	小林清	島崎総区長	三河正文

昭和五十七年の区長さんが決まりました。今後一年の間皆さんと役場との連絡をお願いするわけですが、よろしくお願いいたします。

新区長さん紹介

村長室の黒板から 和島村長 法生 啓介

一月一日 除夜の鐘を聴き終って若水を汲む。清冽な水に歯を凝ませながら、「今日から新しい年」の実感を味わう。温暖な晴の元日の朝を迎える。多くの年賀を頂く。

二日-三日 チラリと樹木にかかる程度の微雪。昨年の今日は大変な雪であったが、今日を感謝。

四日 仕事始め。郡内官公署に年始ごあいさつ。また村内からの年賀のごあいさつを頂く。

五日 長岡方面年始ごあいさつ。

六日 出県し関係部課にごあいさつし、本年度事業について陳情。

七日 村内立地企業関連の親会社外を訪問し、村内企業振興についての積極支援をお願いする。

八日 議会議員年賀交換会出席。

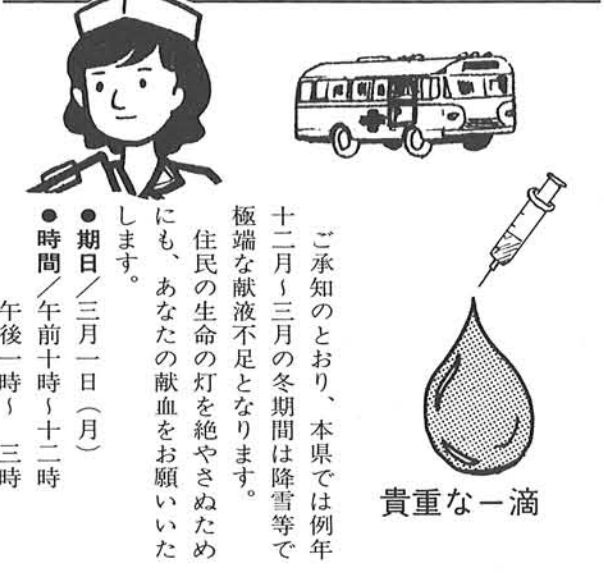
十日 和島村消防団出初式を議場で開催し、無災害無火災を祈念。

十一日 和島村建築組合総会出席、夜上京。

十二日-十四日 在京し国会議員の諸先生、建設省、文部省、通産局等に出向き、公共土木、学校建築等本年度事業採択を陳情。

十六日 前夜来の降雪の為早朝二時ブル初出勤、委託の業者並びに関係職員の御苦勞を多とする。

冬期間の 献血に御協力を！



貴重な一滴

ご承知のとおり、本県では例年十二月～三月の冬期間は降雪等で極端な献血不足となります。住民の生命の灯を絶やさぬためにも、あなたの献血をお願いいたします。

●期日／三月一日（月）
●時間／午前十時～十二時
午後一時～三時

●和島村総合福祉センター
●献血された方に。
県と県赤十字血液センターでは一月一日実施分より、献血していただいた血液を六項目「GPT（肝疾患ほか）ALP（胆管結石ほか）TP血総蛋白量と%比（肝硬変症ほか）血清コレステロール値（心筋梗塞・脳動脈硬化ほか）尿酸窒素（腎不全ほか）Hb抗原（肝障害ほか）」について異常の有無をチェックし、異常の有無に関係なくその結果を献血者一人一人に直接親展封書でお知らせします。献血の都度検査しますから、自分の健康管理に十分役立てて下さい。



健康よもやま(65)
クレチン症検査始まる

昭和五十二年より、知恵遅れや発育障害を予防するために先天代謝異常検査が行なわれていたが、今年一月から甲状腺機能低下症（クレチン症）検査が加わりました。

クレチン症とは、甲状腺ホルモンの不足のために発育の遅れ（手足が短かく、身長が低くなる）、首のすわり、おすわり、歩行などが遅れ、成長するにつれて知能の遅れが目立つようになってきます。産まれた時は分らず成長するにつれて遅れが出てきますので予防するには早期に発見して、不足の甲状腺ホルモンを補ってあげる事が絶対必要です。

＜検査の方法＞
生後五～七日に足の裏から将

お子さんの幸せのために
一滴の血液を！

カギかけは、家族みんなの合言葉

訪中団に参加して (二)

上小島谷 藤田正義



▲孫文の霊廟

条件が悪ければ、自らの手でその条件を作り上げる中国農業はまさに農業の原点と思われました。どんな小面積でも必ず何かを作付してあり、荒れた様な耕地は見あたりません。それ程土地を大切に、食糧増産に励む中国農業の一面を見た感じがいたしました。たとえば川の堤防には、桑を植え、果樹を植え、野菜を植え、家の軒下まで耕し、土地の低い所では池を作り、そこには淡水魚（草魚、鯉等）を養殖し、あひるを飼育し、無駄のない農業を中国の農民は必死で考えております。また、言うまでもなく稲ワラや道路等の草はもちろん町の街路樹の



▲農作業風景

落葉まで有機質として使用しております。中国農業も機械力の導入が余力の点で困難とされています。科学肥料がこれから十分に使用できれば現在より何倍もの生産量が収穫可能になると思われませんが、科学肥料そのものの絶対量の不足と高価な為採算的に合わないとの事でした。ある公社では、日本の尿素を使用しておりました。これからの中国農業は、一〇〇%近い基盤整備の完備上、大型機械の導入、有機質肥料、科学肥料の施用の条件がそろえば、当面の食糧



▲中国の子供達が踊る花笠音頭

問題も解決出来ると思えますが、その人口問題と現在の社会主義国の中の指導体制では、日本の戦後の様な急激な発展は望めないように思いました。ただ、すべての面で試験的、実験的の形の中では、それなりに研究されてはいる様です。そして国の指導の下で働く農民はどの様な考えで生活し、何を求めているのか直接話が出来なかつた点が残念でした。各公社を訪問して思ったのは、中国農業は決して無理のない経営方式でした。地域生産性をとり入れた協同精神の中に今の中国農業がささえられている様に思われました。

2月の心配ごと相談
日時……5日、15日、25日、
午前9時から
午後3時まで
場所……福祉センター相談室
内容……生活相談・医療相談・家事相談・児童相談・年金・身障相談・職業相談・その他なんでも

～心の健康相談～
夜眠れない。人に聞こえない声がある。ない物が見える。人と話したくない。外出したくない。お酒をやめたいなど心の健康についてお困りの方、家族の方はお出かけ下さい。

1. 日時…2月12日(金) 午後2時～3時
2. 場所…総合福祉センター
3. 医師…田宮病院長

児童手当支払

今月は、児童手当の支払月です。十日に北越銀行島崎支店の口座振り込みで支払います。支給期間は昭和五十七年



申告はお早めに！！

定申告は二月十六日から、それぞれ受付が始まります。申告期限は、どちらも三月十五日です。

期限間近になりますと税務署は大変混雑し、落ち着いて相談できなかったり、長い時間待っていたり、申告はできるだけ早く済ませるようになさってください。

昭和五十六年分の贈与税の申告は二月一日から、所得税の確定申告は三月十五日です。

スタート 贈与税2万円
所得税 確定申告2万円
ポイント3万円

笑顔の家庭によい子が育つ

☆ワシマスポーツ☆

緊急！家庭看護教室開催

(北野)

寒くなってから卒中で倒れる人が続出している為、北野では部落の人が十三・十八の両日卒中の家庭看護教室を保健所、村保健婦を講師に招いて開き好評を博しました。

次回、卒中予防学習会を開こうとはりきっています。



住宅金融公庫申し込み受付中

- ◎受付期間/昭和57年1月28日(木)から3月1日(月)まで
 - ◎選定方法/選考(無抽選)により行います。
 - ◎申込場所/公庫業務取扱金融機関
- ※詳しいことについては、住宅金融公庫北関東支所(電話(0272)-32-6655)又は、お近くの公庫業務取扱金融機関でご相談下さい。



村民スキーのつどい 会員募集中!

★とき: 2月28日(日)
★ところ: 須原スキー場

- 参加料: 1人 1,600円
- 対象: 中学生以上
- 定員: 80人
- 申込み: 公民館へ



小島谷駅よりー 跨線橋の工事中!!

小島谷駅では次の期間中跨線橋建設工事をいたします。工事期間中は、乗降が不便になり、ご迷惑をおかけいたします。乗降の際は、頭上と足元に御注意下さい。

◎工事期間(予定) 1月5日~3月30日まで

定期券御利用の 皆様にお願!

小島谷駅では、所定の他次のような取り扱いもしておりますので御利用下さい。

- ◎引き続きお求めの方は、新たに有効となる日の十四日前から発売いたします。
- ◎夜間等、乗降時にお申し出になれば、翌日乗車時までに発行させていただきます。
- ◎妙法寺駅から乗車される方の定期券は、小島谷駅で代理発売いたします。
- ◎通学生の皆様も、小島谷駅でお買い求め下さい。



新春短歌会 (公民館)

❖若水を汲まむと出でし庭の辺の 雪なき寛の水音澄むも

久住桃仙

❖ほのかなる初日射したり工場の 古きカーテンほころぶ目より

小林 清

❖冷えくれば肩痛みくる我がことを 遠く電話に尋ねくれたり

塚田善平

❖白紅と山茶花の花咲き満てり 雪無き戌年の新春の庭

竹内ヨシエ

❖初雪鮮かに寒つばき 冬の狭庭を瞳のごとき

矢部了子

❖取り残す畑の野菜も歳し越せて 春の日ざしに生き生きと見ゆ

関本健蔵

❖誰か知るわが悔いのみの 多かりき年を送りて初日に祈る

羽鳥一義

❖鮭の稚魚のながき旅路のきびしさを 思へば愛し生命あるもの

竹内正男

❖冬の間を安くこもらす地を求め カエル幾匹枯草にひそむ

大矢光儀

❖年の坂登れる我れは更にまた 生くる喜び幸の春かれ

八子広一

❖さりげなくわがリュック負ひくれし 息子に従って登りし苗場の頂き

久須美恒

❖年ごとに移り変れる世なれども 我れなりに生き除夜の鐘つく

小林武太郎

❖雪なくて庭青苔にちらう花 山茶花掃きて雑煮祝へり

宮田トヲ

❖憂きことの多くを耐えし年も去ぬ 夫としみじみ屠蘇を味はふ

久住伊津

新潟県史 只今予約受付中

◆今回刊行巻の内容 (五十七年三月末刊行)

- 資料編3 中世一 文書 編I 四、八五〇円
 - 資料編15 近代三 政治 編I 四、八五〇円
 - 資料編17 近代五 産業経済編I 四、六五〇円 (統計)
 - 資料編20 現代一 政治経済編 四、六五〇円
 - 資料編22 民俗・文化財一 民俗 編I 四、九五〇円
- なお、既刊の六巻(近世三、近代一、原始古代二、近世一、近世二、近世四)もまだ在庫があるそうです。(いずれも送料別)

◆申込先

〒951 新潟市学校町通一番町 新潟県総務部県史編さん室 電話(三三三)三三三三(内線三三三)

▲申込方法

はがきに住所、氏名、購入巻名、冊数、公・私用の別、電話番号などを記し、お申込み下さい。